学校番号	2001

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『新 現代の国語』（桐原書店）						
副教材等	『ココから始める！評論文読解ノート』（数研出版） 『高校生のための語彙＋漢字 2000』（筑摩書房） 『新訂版　最新国語便覧』（浜島書店） 『新コンセプト　現代の国語』（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・論理的な文章の読解には、漢字や語彙の知識が必要不可欠です。知らない単語や読めない漢字は事前に調べるようにし、副教材等を用いて家庭学習の習慣を身につけましょう。
・様々な文章に触れることで読解力だけではなく、論理的な思考力や豊かな想像力を養いましょう。また、批判的に読み進めていくことで、物事を多角的にとらえる視点を身につけましょう。
・ペアワーク等を通して、他者の意見を聞いたり、自分の意見を適切に表現したりすることで、実社会で必要な能力の向上を図りましょう。

2　学習の到達目標

・漢字や語彙等の国語の基本的な知識や技能を身につける。
・構成や要点を的確にとらえ、論理的に考える力や、深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばす。
・他者との関わりの中で伝え合う力を高めるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」、「話すこと/聞くこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	1 言葉に表す ［教材］ 「ふしぎと人生」 河合隼雄	a:「ところが」「しかし」など、逆接の接続語の働きを正確に理解している。 b[話/聞]:「物語」についての筆者の捉え方に対する自分の考えをまとめ、それを支える適切な話題を設定し、表現に工夫を凝らしながら伝えることができる。 c:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。 「自然科学」と「物語」の双方について、自分なりにその意義を考えている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察
	評論解析A ［教材］ 「環境世界」 大井玄	a: 対照的な事柄を挙げ、比較する形式を取ることで、伝えたい事柄が効果的に説明されることを理解している。 b[読]: 「環境」と「環境世界」、「コトワケ」と「ミワケ」がそれぞれ対比されていることに気づき、両者の違いを説明できる。 c: 本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	定期考査 小テスト	定期考査 観察	課題
	評論解析A ［教材］ 「紫外線」 中村桂子	a: 具体例の内容を的確に捉えることは、筆者の抽象的な見解を把握する大きな助けとなることを理解している。 b[読]: 紫外線について述べた具体例に当たる部分の内容をまとめ、それがどのようなことを説明するために出された例かを考察している。 c:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題
	2 筋道をつかむ ［教材］ 「言葉の力」 大岡信	a:「そういうこと」「こういうこと」などの指示表現が指す事柄を正確に理解している。 b「読」:「言葉の力」についての筆者の考えをまとめ、主題を理解している。 b[書]: 本文の読み取りをもとに、自分にとっての「ささやかだが心に染みた言葉」について、構成や表現を工夫しながら 200 字程度の文章にまとめることができる。 c:「言葉を贈り物にする」という発想について自分の考えをまとめる中で、自らの言語生活を見つめ直している。	課題 観察	課題	課題 観察
	2 筋道をつかむ ［教材］ 「演劇と『人間の速度』」 鴻上尚史	a: 評論の基本的な読み方を習得する。 b[読]:スマートフォンと演劇の特性についての比較を通して、筆者の見解を捉える。 c: 生活必需品ともいえるスマートフォンの利便性について考えることで、当たり前になりつつある考えや状況を見つめ直す。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察
	評論解析A ［教材］ 「立憲主義の成立」 長谷部恭男	a:主張や論拠などの情報と情報との関係性を捉える。 b[読]:文章や図表などに含まれている情報を的確に把握し、書き手の意図や思考の強調点を読み取りながら、文章を対象化して吟味したり検討したりしながら批判的に読む。 c:本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
二学期	3 視点を変える ［教材］ 「星の目で見る」 阿部雅世	a：話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識している。 b[読]：文章や図表などに含まれている情報を的確に把握し、書き手の意図や思考の強調点を読み取りながら、文章を対象化して吟味したり検討したりしながら批判的に読んでいる。 c：固定化されがちな見方や考え方に対して、その意義や本質について改めて考え、発信し、積極的に新たな視点で物事を捉えて視野を広げようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察
	4 他者と向き合う ［教材］ 「わかろうとする姿勢」 鷲田清一	a：話し言葉と書き言葉の語彙の特徴や役割、表現の特色や違いを十分に認識している。 b[読]：書かれた文章の特徴や、構成、論理の展開などについて叙述を基に捉え、内容について批評的な視点で読んでいる。 c：自分とは違う文化や価値観などに目を向け、他者との関わりを振り返ったり、他者について考えるなど、粘り強く他者と向き合い、理解しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察
	6 論理を組み立てる ［教材］ 「羅生門」 芥川龍之介	a：登場人物の境遇や人物像、行動の意味を捉える。 b[書]：老婆と下人が用いた論理を確認・検証し、身の回りの事柄や社会の風潮から課題を見つけ、その論理を用いて自分の意見や主張を示す文章を書く。 c：各教材のさまざまな論理展開を確認して論理の組み立て方を積極的に身につけ、自分の考えをわかりやすく伝えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察
	5 問いを立てる ［教材］ 「サイボーグとクローン人間」 山崎正和	a：二項対立による比較対照に着目し、筆者の主張を的確に捉える。 b[話/聞]：筆者が、人々が危険や嫌悪を感じているクローン人間よりも、人々が楽天的に受け入れているサイボーグに対して危険であると考えている理由をまとめる。 c：自分が抱いた疑問や矛盾について具体的な問いを立て、粘り強く問いに向き合うことで、自らの考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 観察
	評論解析B ［教材］ 「アラビア語を学ぶ」 岡真理	a：本文理解に欠かせないキーフレーズを見つけ、筆者の主要な見解をつかむ。 b[読む]：主張や論拠などの情報と情報との関係性を理解した上で、主張の妥当性を明確に捉えている。 c：本文中の難解な語句や表現を国語辞典などを用いて調べている。	定期考査 課題	課題	課題 観察

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
三学期	7. つながりを見いだす ［教材］ 「遅れてきた『私』」 若林幹夫	a:抽象度の高い文章において論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉えている。 b[話/聞]:本文の内容を踏まえ、自分の中にある「つながり」を思いつく限り挙げ、それらが「共時的」側面におけるものか、もしくは「通時的」な側面におけるものか考え、対話する。 c:実社会において理解したり表現したりするための語句などを的確に理解し、話や文章の中で積極的に使用して語感を磨き続けている。	定期考査 小テスト	定期考査 観察	課題 観察
	8. 常識を問い直す ［教材］ 「言葉は『ものの名前』ではない」 内田樹	a: 伝統的な言語観と筆者が提示する言語観の違いを捉え、図の空欄を埋めて確認できる。 b[読]:論理の展開に着目して、筆者の主張を的確に捉える。 c:当たり前とされがちなことを批判的に問い直して、新しい考えを得ようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 課題	課題 課題
	8. 常識を問い直す ［教材］ 「納税は義務か」 大竹文雄	a:推論のしかたの類型を理解し、実際の用いられ方の実例を本文の中に確認する。 b[話/聞]:本文について、論理の展開を予想した上で、聞き取った情報の妥当性や順序性、信頼度について的確に判断し、情報の整理のために必要な問いを立てるなど、思考を深める。 c:教材から読み取った内容を実社会に照らし合わせて自らの問題として提起し、論じることで理解を深めようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 観察	課題 観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間　・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間